



暑さも日々増していき、いよいよ夏本番ですね。子どもたちは暑さを感じさせないくらい元気に遊んでいます。ですが暑さから疲れが出やすく、体力や食欲が落ちたり、睡眠不足だったり夏バテしやすい時期です。また、プールや水遊びでの感染症や戸外活動による熱中症などさまざまなリスクが高まります。予防や対処法などで暑い夏を健康的に乗り越えましょう。

夏に子どもがかかりやすい感染症



- ・手足口病・・・主に5歳以下の子どもに流行し、発熱や手や足や口内の水疱が特徴です。
- ・ヘルパンギーナ・・・喉に水疱ができ、発熱を伴う感染症で、特に乳幼児に多いです。
- ・咽頭結膜熱(プール熱)・・・アデノウイルスによる感染症で、高熱や結膜炎を引き起こします。
- ・流行性角結膜炎(はやり目)・・・アデノウイルスによる目の感染症で、目の充血やかゆみが見られます。
- ・伝染性軟属腫(水いぼ)・・・感染力が強いウイルスによる皮膚の病気で、特に乾燥肌やアトピー性皮膚炎のある子どもに発症しやすいです。

夏に注意したい皮膚トラブル『あせもととびひ』

あせも・・・汗のせりがつまり、汗が皮膚の中にたまったために出てくる病気です。そのため温度・湿度が高いときに汗をたくさんかく部分にできます。(頭や顔、首回り、背中、胸やお腹周り、肘や内側、足の付け根、お尻、膝の裏側)

→汗を残さないようにこまめに拭く、シャワーで流す、通気性の良い服や空調を利用して汗をかきすぎない環境を作る。

とびひ・・・皮膚の感染症で、一部に赤いポツポツや小さな水ぶくれが現れます。例えば、虫刺されやあせものようなぶつぶつをお子さんがかき壊してしまった後、その部分が赤くただれて小さな水ぶくれになることがあります。

→患部を被覆材で覆う、タオルなどの共有はしない、湯船にはつからずシャワーをし身体を清潔に保つようにする。

恐竜の図鑑を見ながら写し絵をして
カプラで恐竜の骨を再現しました(^^)／



紙皿でコマを作ったよ♪
ピカチュウのシールも貼ってかっこい
コマが完成しました☆彡



先月の利用状況

1日あたり(1～10人)

	全体合計	0～3歳未満	3歳～5歳未満	5歳以上
高砂市	58人	39人	9人	10人
加古川市	34人	27人	2人	5人
その他の市	2人	0人	0人	2人
合計	94人	66人	11人	17人

病児保育室の詳しいご案内は
こばやし小児科ホームページを
ご覧ください

パンフレットも受付にあります！
お気軽に声をかけくださいね(^^)
キャンセルはなるべく
6時30分までにご協力
よろしくお願いします。

